

取扱説明書

デジタルワイヤレストランスミッター ATW-T190BP

1.9GHz帯

別売品

- ・本製品を運用するには、下記別売品のトランスミッター用マイクローホンと受信機が必要になります。
- ・下記、別売品以外の製品には対応しておりません。
- ・用途に合わせてご購入求めください。
- ・本製品は電池別売です。

＜受信機＞

●ワイヤレスアンプシステム(1チャンネルタイプ)
ATW-SP1910

●ワイヤレスアンプシステム
(1チャンネルタイプ/マイク同梱)
ATW-SP1910/MIC

●ワイヤレスアンプシステム(2チャンネルタイプ)
ATW-SP1920

●ワイヤレスアンプシステム
(2チャンネルタイプ/マイク同梱)
ATW-SP1920/MIC

＜受信機＞

●ワイヤレスレシーバー
ATW-R190

＜トランスミッター用マイクローホン＞

●ヘッドウォンマイクローホン
(ヘッドセットタイプ)
PRO8HEW/P

●ラベリアマイクローホン(クリップタイプ)
AT829H/P

安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

危険

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。

警告

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。

注意

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

警告

- 本製品を医療機器の近くで使用しない
電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。
- 異常に気づいたら使用しない
異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがあつたら、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店が当社のサービスセンターに連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- 分解や改造はしない
感電、故障や火災の原因になります。

- 強い衝撃を与えない
感電、故障や火災の原因になります。
- 濡れた手で触れない
感電やけがの原因になります。
- 水をかけない
感電、故障や火災の原因になります。
- 本製品に異物(燃やしやすい物、金属、液体など)を入れない
感電、故障や火災の原因になります。
- 布で覆わない
過熱による火災やけがの原因になります。

注意

- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に保管しない
故障、不具合の原因になります。
- 火気に近づけない
変形、故障の原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない
変形、故障の原因になります。

電池について

指定電池 単3形アルカリ乾電池または単3形ニッケル水素電池 × 2(別売)

危険

- 電池の液が目に入ったときは目をこすらない
すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。

警告

- 火の中に入れない、加熱、分解、改造しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 爆発性(+)/-に過剰に入れる
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 液漏れした電池はすぐに取り出し、液は素手でさわらない
・幼児がなめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをして、医師の診察を受けてください。
・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
- 硬質やカギなど金属製のものと一緒の場所に置いたり、電池の+と-を接続しない
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 新しい電池と一度使用した電池、銘柄や種類
の違う電池を混ぜて使用しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 乾電池は充電しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 使用切った電池はすぐに取り出す
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 長期間使用しない場合は電池を取り出す
液漏れによる故障の原因になります。

audio-technica®

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

注意

- 外装ラベルがはがれた電池は使用しない、
ラベルを剥がさない
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 落下させたり強い衝撃を与えない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 変形させたりバンド付けしない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 以下の場所で使用、放置、保管しない
・直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
・炎天下の車内
液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
- 絶縁、廃棄の場合は端子部をテープなどで
絶縁する
液漏れ、発熱、破裂の原因となります。
- 水に濡らさない
発熱の原因になります。
- 指定の電池以外使用しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 使用済みの電池は自治体の指定の方法で処分
する
環境保全に配慮してください。

ワイヤレス製品について

- 本製品は(財)テレコムエンジニアリングセンター(TELEC)の技術基準に適合しています。
貼り付けられているラベルはその証明ラベルです。証明ラベルの貼り付けられた製品を
総務大臣の許可なしに改造、または証明ラベルを剥がして使うことはできません。
これに違反すると法律により罰せられます。
- 本製品は、1.9GHzの周波数帯域を使用します。この周波数帯域を使用するほかの機器との
電波干渉を避けるために、下記事項をお読みのうえ使用してください。

- ・本製品は、1.895.616 ~ 1.902.528MHzの帯域を使用する、
デジタルコードレス電話の無線局の無線設備です。
(一般社団法人 電波産業会 標準規格[ARIB STD-T101]準拠)

1.9-D

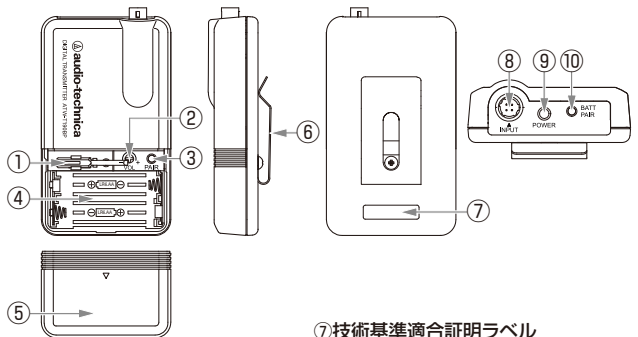
●本製品の使用周波数に関するご注意

- 本製品の使用周波数帯域は、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。
- 1. 本製品は同一周波数帯域を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本製品から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合
には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口
にご連絡いただき、混信回避のための処置についてお問い合わせください。
- 2. その他、何かお困りのことが起きたときは、当社お客様相談窓口へお問い合わせください。

使用上の注意

- 本製品は日本国内のみで使用できます。
- 本製品は照明調光装置、コンピューター、OA機器、電子楽器、コードレス電話などの影響を受ける場合があります。影響を受けにくい位置で使用してください。
- 接続するマイクローホンのケーブルを本製品に巻き付けしないでください。また、巻いたケーブルを本製品に近づけないでください。ノイズ発生の原因になります。

各部の名称と機能



- ①ドライバー
音量ボリュームの調整時に使用します。
- ②音量ボリューム
入力端子に接続した機器の音量を調整します。
・工場出荷時はセンターになっています。

- ③ペアリング/ミュートボタン
本製品と受信機のペアリングをします。
使用時、押すたびにミュート状態を切り換えます。

- ④電池ケース
単3形電池を2本入れます。

- ⑤電池カバー

- ⑥ベルトクリップ
ベルトなどを挟み込み、本製品を固定します。

- ⑦技術基準適合証明ラベル
電波法により定められた技術基準に適合していることを証明するラベルです。
このラベルを剥がすことは電波法により禁じられており、罰せられます。

- ⑧入力端子
別売のヘッドウォンマイクローホンやラベリアマイクローホンなどを差し込みます。

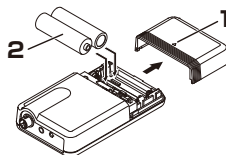
- ⑨電源ボタン
電源を「入/切」します。

- ⑩電源/ペアリングインジケータ
電源/通信状態を表示します。

緑点灯	受信機とペアリング状態
緑点滅	ペアリング待機状態 / ミュート状態
赤点灯	受信機と未通信状態
赤点滅	電池残量少

電池の入れかた

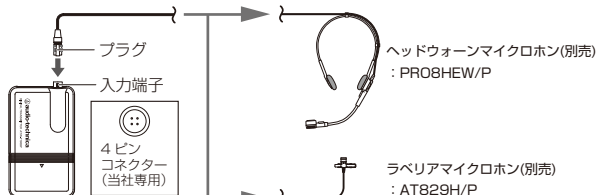
1. 電池カバーの▼部を指で押さえ、スライドさせます。
2. 単3形電池を電池ケース内の極性(+/-)表示に合わせて入れます。
3. 電池カバーを取り付けます。



接続のしかた

接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

1. 本製品の電源が切れている状態で、入力端子に別売のヘッドウォーンマイクロホンやラベリアマイクロホンなどを差し込みます。
 - ・本製品は楽器用途に対応していません。ギター接続用ケーブルなどとは接続しないでください。



2. 本製品と受信機をペアリングします。
 - ・一度ペアリングをすると、次回からは自動的にペアリングされます。

ペアリングのしかた

受信機の取扱説明書も併せてお読みください。

1. 受信機をペアリング待機状態にします。
2. 本製品の電源が切れている状態で電池カバーを外し、ペアリング / ミュートボタンを押しながら電源を入れます。
 - ・電源を入れたあともペアリングボタンは離さずに押し続けます。ペアリング / ミュートボタンを押し続け、約3秒経過すると電源 / ペアリングインジケータが赤点灯から緑点滅に変わります。赤点灯から緑点滅に変わったらず指を離します。(ペアリング待機状態)
 - ・5秒以上長く押し続けてしまうとペアリングできないことがあります。その場合は、もう一度ははじめからやり直してください。
 - ・ペアリング待機状態で約2分経過すると、ペアリング待機状態が解除されます。
3. ペアリングが完了すると、電源 / ペアリングインジケータが赤点灯に変わったあと、緑点灯に変わります。
 - ・ペアリングが完了しなかった場合は、もう一度ははじめからやり直してください。
 - ・ペアリングを解除したい場合は、受信機側で解除の操作をしてください。

使いかた

接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

1. 受信機の電源を入れ、本製品の電源ボタンを押して電源を入れます。
 - ・電源 / ペアリングインジケータが緑点灯するまでに約3～5秒*がかかります。*使用条件により異なります。
2. 接続したマイクロホンに音を入れながら、ペアリングした受信機の音量ボリュームで、適切な音量にします。
 - ・音が大きすぎたり小さすぎる場合は、本製品の音量ボリュームで調整してください。

オートパワーオフ機能について

本製品と受信機の距離が離れすぎている、または受信機の電源が切れているなどの未通信状態になると、本製品の電源 / ペアリングインジケータが赤点灯します。

赤点灯の状態が約1分間続くと、自動的に本製品の電源が切れます。

再び使用する際は、電源を入れ直してください。

ミュート(消音)機能について

通信時、ペアリング / ミュートボタンを短押しするとミュート状態になります。もう一度短押しすると通常の使用状態になります。

・ミュート状態の間、電源 / ペアリングインジケータが緑点滅に変わります。

電池残量について

電池残量が少なくなると、電源 / ペアリングインジケータが赤点滅します。その場合は新しい電池に交換してください。充電式電池を使用している場合は充電してください。

故障かな?と思ったら

電源が入らない

→電池は入っていますか? また、電池が消耗していませんか?

音が出ない

- 電源が切れていませんか?
- 音量ボリュームが最小になっていませんか?
- 受信機とペアリングされていますか?
- ミュート状態になっていませんか?
- 入力端子に、接続する機器のプラグが確実に差し込まれていますか?

ノイズが出る

- 入力端子に、接続する機器のプラグが確実に差し込まれていますか?
- マイクロホンのケーブルを巻き付けていませんか?
- 入力信号が大きすぎませんか?

受信機が受信しない、通信距離が短い

- 本製品および受信機の電池が消耗していませんか?
- 本製品と受信機の間にデジタル機器や障害物などありませんか?

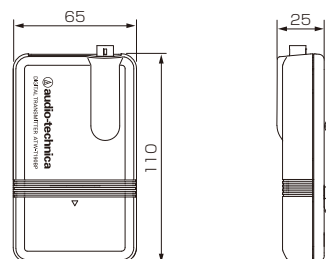
音が割れる

- 入力信号が大きすぎませんか?

音が小さい

- 入力信号が小さすぎませんか?

外形寸法図



(単位: mm)

テクニカルデータ

電源	単3形アルカリ乾電池 ×2 または単3形ニッケル水素電池 ×2
消費電流	160mA
無線方式	1.9GHz DECT 準拠方式
使用周波数	1895.616 ~ 1902.528MHz
周波数特性	100 ~ 10,000Hz
アンテナ	内蔵アンテナ (ダイバーシティ)
通信距離	約50m (見通し時、妨害電波がない場合)
連続使用時間	約11時間 (単3形アルカリ乾電池使用時) 約10時間 (単3形ニッケル水素電池使用時) *使用条件により異なります。
入力端子	4ピンコネクタ (当社専用)
使用温度範囲	5 ~ 45℃
外形寸法	W65×H110×D25mm
質量 (電池除く)	約90g

改良などのため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先(電話受付/平日9:00~17:30)

●お客様相談窓口(製品の仕様・使いかた) ☎ 0120-773-417
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211)

FAX: 042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp

●サービスセンター(修理・部品) ☎ 0120-887-416

(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)

FAX: 042-739-9120 Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp

●ホームページ(サポート) www.audio-technica.co.jp/atj/support/

株式会社 オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1

http://www.audio-technica.co.jp

232305560

2016.06